項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	Adipo－oncology： 脂肪細胞を介したがん生体制御機構の多面的解析
	研究対象者	2005 年 1 月から、2028 年 3 月に神奈川県立がんセンターおよび国立がん研究センター中央病院にて包括同意を頂いた患者様。
	研究目的	脂肪細胞は、がんの増殖を制御する作用を持つ様々な因子を分泌しますが、その機能は十分にわかっていません。本研究は、がんと脂肪の相互作用を、細胞や、がん組織、血液などの体液を用いて、詳細に解析し、人工知能の力も借りて、現実に患者さんで生じているがんと脂肪細胞の相互作用を明らかにすることを目指します。将来的には、本研究成果から、神奈川県立がんセンター発の、新しいがん治療法の開発を目指します。
	研究方法	がんと脂肪細胞の相互作用を組織レベル、がん組織由来 PDX・オルガノイドレベル、そして細胞レベルでオミクス解析し、人工知能解析を組み合わせることにより、患者さんのがん組織上で生じているがん-間質細胞の相互作用を明らかにします。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。本研究では、包括的同意に基づき提供された検体・情報を用いて、代謝関連遺伝子の解析を行います。解析の過程で、副次的所見（セカンドファインディング）が得られる可能性はありますが、本研究ではそのような所見に関連する遺伝子（例：がん感受性遺伝子など）の解析は実施せず、また診断精度を保証するものではないため、これらの情報については返却いたしません。
	研究期間	総長が研究実施を許可した日　～　西暦 2030 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[　]総長が研究実施を許可した日 [✔] 西暦 2024 年3 月 31 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[✔]試料:	[✔]血漿、[✔]血清、[✔]全血、[✔]末梢血から抽出した DNA、 [✔]病理検体(具体的に記載: 病理組織)、 [__]尿、[__]糞便、[__]唾液、[__]胸水、[__]腹水、[__]脳脊髄液、 [__]毛髪、[__]その他(具体的に記載:_____)
	[✔]情報:	[✔]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✔]年齢、[__] 生年月日、[✔]性別、[✔]既往歴、[✔]併存疾患、[__]外来日・入院日・退院日、[✔]臨床検査値、[✔]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✔]臨床所見・経過（予後追跡データを含む)、[✔] ゲノムデータ、[__]看護記録、[__]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 臨床研究所・佐藤慎哉
	共同研究機関および責任者	施設名・氏名 名古屋大学・近藤豊 国立がん研究センター中央病院、同研究所・谷田部恭 国立がん研究センター研究所・竹下文隆 がん研究会がん研究所・丸山玲緒 東京工業大学・石田忠 横浜市立大学・田村智彦

		名古屋大学・中枋昌弘
	その他の機関	施設名（・氏名）
	外国へ提供する場合	該当なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター臨床研究所・がん分子病態学部・佐藤慎哉 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2028 年 12 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります